



栃木市立大平東小学校
学校だより 第2号
令和7年5月9日
校長 新村 純



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



【学校の教育目標】 かしこく なかよく たくましく

まじゅうしんな のち じんしん やしな 先づ獸身を成して後に人心を養へ

「まずは獸（けもの）のような身体をしっかりと作ってそのあとに人としての心を養っていきましょう」という意味の言葉です。

これは誰もが知るある有名人の言葉です。スポーツ界の有名人ではありません。教育者です。

教育者として学ぶことの大切さを説いたことで有名ですが、学ぶこと以前の大前提として、「健康であることが一番で、基本は身体である」ということを強調していました。

獸身（獸のような身体）というと、ちょっと大袈裟なイメージですが、それほど、身体作りを大切だと考えていたと言えます。

本校の教育目標で考えると、第三項「たくましく」がこれにあたります。

本校の教育目標は「かしこく なかよく たくましく」で、知育・德育・体育の順になっていますが、順番による軽重はありません。確かな学力、豊かな人間性、健やかな体、どれも大切であり、3項目バランスの取れた力の育成を目指しています。

「たくましく」とは、具体的には「心身共に健康で、粘り強く取り組む子」を育成することです。

問題は、そのような子供をどうやって育てるのかです。

それには価値ある「体験」をいっぱいさせることが大切です。

いろいろな運動やスポーツに触れさせ、体を動かすことの面白さを知らせるようにします。運動やスポーツに限らず、花や野菜を育てる、虫を捕まえる、動物を飼うなど、多様な体験をたくさん積ませます。

外遊びの大切さ

のために大切なのが、休み時間や昼休みの外遊びです。

本校には、様々な遊具があります。東山もあります。自然もいっぱいです。外遊びをするのに大変恵まれた学校です。

2校時終了のチャイムが鳴り、間もなくすると、校長室前を2年生の子供達が我先にと走り過ぎます。その先には一輪車置き場があります。自分に合った一輪車を手に取り、登り棒や鉄棒に向かいます。登り棒や鉄棒につかまって練習するためです。自分で考え・工夫して、友達のやり方を参考にして、上級者のアドバイスを聞いて、友達と協力して練習しています。こう考えると「遊び」が「学習」にもなっています。

5年生の男の子たちが昇降口で、「校長先生、学校はたくましくなるところですよね。元気にお外で遊んできます！」と言って、うれしそうに



一輪車の練習をする子供たち



サッカーやドッジボールも人気です



外に飛び出しています。学校の教育目標が子供たちの口から出てくることに私もうれしく思います。

東山も人気です。

昨年12月に鳥小屋を撤去したことで、東山にある岩石園が目の目を見ることになりました。岩の上に乗って遊ぶ子、岩の上でまごと遊び、岩から岩に飛び移る子、正に獣ですね。

先日、1年生がダンゴムシをたくさん捕まえたといって、うれしそうに教えてくれました。3年生の女の子がカナヘビを捕まえたといって、見せてくれました。2年生の女の子はシロツメクサで輪飾りを作りました。



東山 緑のじゅうたんにごろり



東山 岩石園の岩の上で

こういった「体験」が重要です。

幼い頃に体で覚えたこと、自分の手や肌、そして体全体で得たものが、きっちりと自分の本当の力になります。

休み時間や昼休みの外遊びを大いに奨励していきます。

おっと、誰もが知る有名人の名前を記すのを忘れていました。『学問のすすめ』の著者で、慶應義塾の創始者でもある福澤諭吉です。旧一万円札に描かれた人物です。

おやじの会の方々、ありがとうございました！

4月25日（金）放課後にプール清掃の事前準備作業を行いました。上学年児童でプール清掃を行いますが、児童では大変な作業（側溝の泥をきれいにする等）を、事前準備作業として行いました。今年度も、おやじの会の方々が協力してくださいました。おかげで短時間で終えることができました。おやじの会の方々、学校のためにありがとうございました。



◆保護者の方から感想が寄せられました。ご紹介いたします。（原文のまま）

学校だより毎月楽しみに読ませていただいています。校長先生のお考えや方針が分かりやすく書かれていて、私たちにも理解しやすいと思います。経営方針の「和の精神（和して同ぜず）」すばらしいと思います。一保護者として少しでも学校に協力できるようにしたいと思います。簡単ですが初めて発信してみました。

（メールアドレスの入力がなかったのでこちらで返信します）

【校長より】お仕事や家事、子育て等でお忙しい中、学校だよりを読んでいただけるだけでもあります。このように感想を送っていただけること本当にうれしく思います。「和の精神」とはこのような行為一つ一つなのだと思います。このように双方向になればよいと思っております。

私からの一方通行ではなく、双方向になればよいと思っております。「学校だより」やホームページ等へのご感想・ご意見をお寄せいただけするとありがとうございます。

